

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
神戸医療福祉専門学校 三田校	平成9年3月26日	澤村 誠志	〒669-1313 兵庫県三田市福島501-85 (電話) 079-563-1222			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人神戸滋慶学園	平成4年1月13日	覚野 博夫	〒669-1313 兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号 (電話) 078-221-8026			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士	
医療	医療専門課程	救急救命士科		平成10年12月21日 文部科学大臣告示第30号	-	
学科の目的	救急医療に携わる者として必要な専門知識、技術、倫理観を身につけた人材の養成を目的とし、さらに国際的な視野をもち、今後の日本における救急医療の前進に貢献できる人材を育成することを目標としています。					
認定年月日	平成26年3月31日					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験
2年	昼間	2250時間	795時間	285時間	1170時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人	98人	0人	4人	20人	24人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験は各学期ごと又は科目終了時に行い、試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月11日～8月17日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■学年末:3月31日		卒業・進級 条件	本校所定の課程を修了し、出席日数をみたし、試験に合格した者。		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 西日本学生救急救命技術選手権 ■サークル活動: 有		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 消防署、海上保安庁、病院等 ■就職指導内容 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催 ■卒業生数 43 人 ■就職希望者数 39 人 ■就職者数 31 人 ■就職率 79 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 72 % ■その他 ・進学者数: 4人 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種別 受験者数 合格者数 救急救命士 ② 43人 43人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		
中途退学 の現状	■中途退学者 14名 令和3年4月1日時点において、在学者100名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者86名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更他 ■中退防止・中退者支援のための取組 クラス担任制で、定期、不定期の個人面談を行っている。また学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個別面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		■中退率 14%			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 神戸医療福祉在校支援奨学金:突発的な経済的事情で学業継続が困難であり、かつ本校の定める成績基準を満たしている在校生が対象。学費を上限とした額で無利子。(但し、在学中に1回のみ) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象					
第三者による 学校評価	評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)					
当該学科の ホームページ URL	https://www.kmw.ac.jp/gakka/elt/					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学者

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

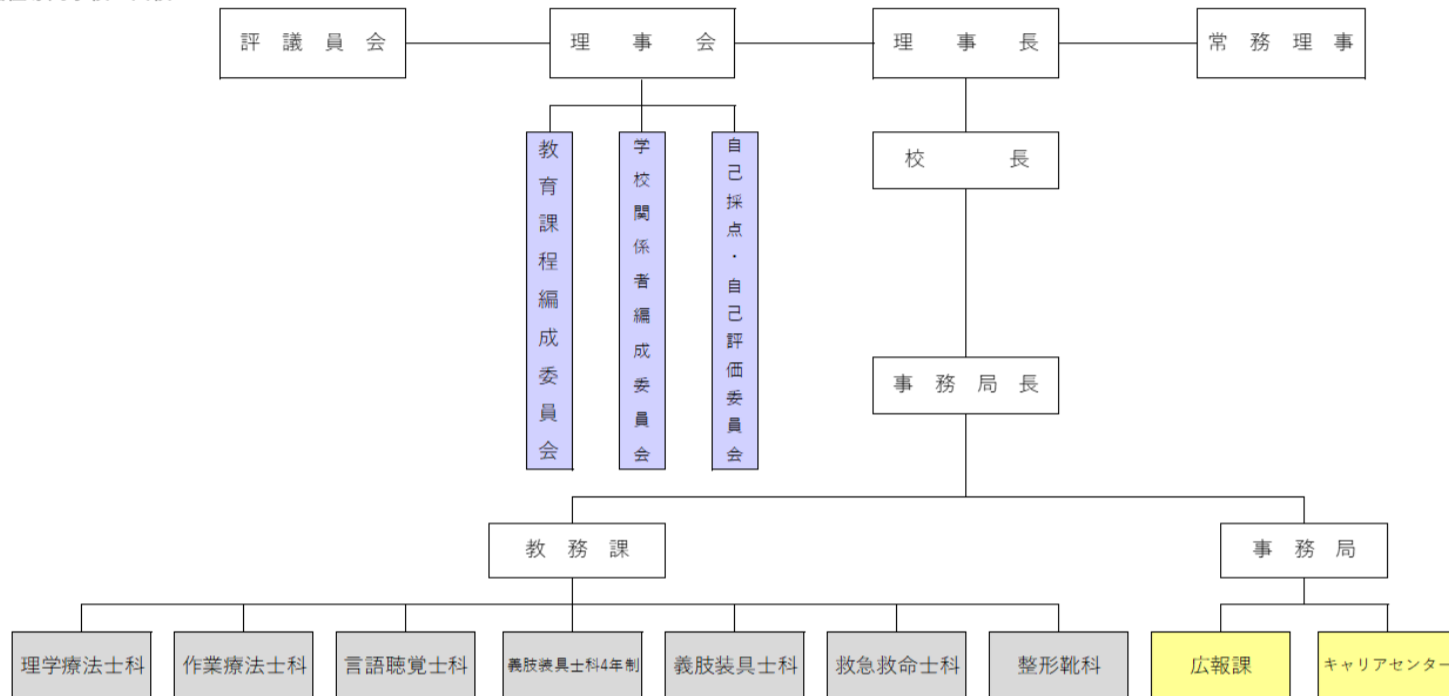
業界との連携について、学生それぞれを配置する臨床実習先の専門職を実習指導者に就任していただき、実習開始前には本校に集合していただいた上で、本校の建学の理念、学科の養成目的、臨床実習の目的を説明させていただき、臨床実習での指導をおこなっていただいています。教育課程編成委員会においても、業界関係者からの意見を、より詳細に教育内容に反映させるように見直している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置しており、委員長は、委員会で出された意見を集約し理事会に報告している。カリキュラム変更等は評議員会、理事会で決議し教育内容に反映させている。

学校法人神戸滋慶学園  
神戸医療福祉専門学校三田校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
齋藤 満知子	学校法人 神戸滋慶学園 常務理事	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
澤村 誠志	神戸医療福祉専門学校三田校 校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
今在家 信司	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
岡田 大地	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科副学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
山下 真吾	神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科副学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
今岡 康人	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
榎木 千代美	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
佐々木 伸	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科・義肢装具士科4年制学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
辻野 道子	神戸医療福祉専門学校三田校 整形靴科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
正木 健一	一般社団法人 兵庫県理学療法士会 財務部部长	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
堤 万佐子	兵庫県宝塚市向月町19番5号 医療法人 尚和会 宝塚第一病院	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
田川 和人	みきやまりハビリテーション病院 療法部主任	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
中村 太一	医療法人社団薫楓会 緑駿病院 作業療法士室長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
大和 健一郎	さんだりハビリテーション病院 療法室長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③

門脇 誠一	一般社団法人兵庫県作業療法士会 理事(副会長)	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
恩田 光平	兵庫県言語聴覚士会 理事	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
吉田 泉	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 あわじ荘 支援課	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
田畑 隆太	緑駿病院 リハビリテーション室 室長 言語聴覚士	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 顧問	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
秋田 健太郎	医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院 救急救命士科	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
石原 栄治	公益社団法人 日本義肢装具士協会 副会長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
植田 幸一	橋本義肢製作 株式会社 第2装具課 課長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
藤原 誠文	株式会社 アルフィット 代表取締役	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
栗林 薫	日本整形靴技術協会 顧問	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
眞殿 浩之	川村義肢株式会社 製造部 製靴科 主任技師	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回開催する。(毎年6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 2021年6月26日(土) 15:00～17:00

第2回 2022年2月12日(土) 14:10～16:10

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

拡大2行為などの処置拡大に伴い、2年制課程では不利ではないか？また、講師や病院実習先は充足しているか？などの意見があった。現在、2年制でも指定された以上のカリキュラムのため特に問題はないが、職域拡大により教育内容の変更があった場合は厳しくなると考えている。病院実習については、2次医療機関で充実した内容で実施できているため、新たな病院開拓は考えていない。取り巻く環境に応じて、すばやく適応できるようにしている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実際に搬送後病院内でどのような処置、治療が行なわれているかなど、全体像を理解し、医療現場の見学と医療行為の介助を通じて特定行為に係わる技術の習得を主体とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各施設へ担当教員が実習期間や受け入れ人数について事前に打ち合わせを実施。実習内容については臨地実習要綱に基づき依頼する。

学内では実習履修要件として、定められた項目について評価を行う。

実習開始前に、各施設において実習前オリエンテーションを実施し、実習期間中は実習担当者と情報交換を行い、実習状況を確認する。正当な理由のある欠席等については、別途日程で補充実習を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	救急救命士の使命感をもつこと、観察・判断・処置・特定行為に関連する手技を習得すること、及び患者様に対する接遇を学ぶことなどを目的とする。 実際の医療を肌で感じとり、医療者としての人間形成の基礎となることを期待。	神戸徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、兵庫医科大学病院救命救急センター、大阪府立中河内救命救急センター、りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。また、教員の専門知識・技術の向上の為にそれぞれの専門の学会や業界の研修会への積極的参加を促しています。学科にて教員全てが研修を受けるように、計画している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「JESC教育分科会 救急救命チーム会議」(連携企業等: 一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間: 令和3年6月18日(金) 対象: 教員  
内容: 滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版、各校の広報・DO・国試・就職について目標・数字確認・問題点の対策

研修名「一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会理事会」(連携企業等: 一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会)  
期間: 令和3年6月18日(金) 対象: 教員  
内容: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として、法人の業務執行の決定等

研修名「一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 理事会・総会・教員研修交流委員会」(連携企業 一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会等)  
期間: 令和3年6月19日(土) 対象: 教員  
内容: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会、JESAに加盟している民間養成校の総会・教員研修会

研修名「JESC教育分科会 救急救命チーム会議」(連携企業等: 一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間: 令和3年11月12日(金) 対象: 教員  
内容: 滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版、各校の広報・DO・国試・就職について目標・数字確認・問題点の対策

研修名「令和3年度救急救命士養成所専任教員講習会について」(連携企業等: 兵庫県健康福祉健康局医務課)  
期間: 令和3年12月13日～15日(水) 対象: 教員  
内容: 救急医療対策の一環として、救急救命士養成所の専任教員の質の向上・法改正に伴う院内救急救命士について

研修名「一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会理事会」(連携企業等: 一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会)  
期間: 令和4年1月18日(火) 対象: 教員  
内容: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として法人の業務執行の決定等

研修名「JESA理事会」(連携企業等: 一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会)  
期間: 令和4年3月22日(火) 対象: 教員  
内容: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として法人の業務執行の決定等

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「国家試験対策センター会議」(連携企業等: 一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間: 令和3年5月31日(火) 対象: 教員  
内容: 国家試験に対する研修会 令和2年度国家試験結果・振り返り・2022年度事業計画

研修名「2021年度 FDマイクロレベル フォローアップ研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年6月17日(木) 対象:教員  
内容:一般財団法人 滋慶教育科学研究所における教育理念・コーチングスキル研修

研修名「2021年度 キャリアサポートアンケート勉強会」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年6月27日(月) 対象:教員  
内容:JESC・CSAの実施結果報告及び学生の傾向と問題状況の読み方についての勉強会

研修名「2021年度マネジメント研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年10月19日(火) 対象:教員  
内容:マネジメント教育について

研修名「2021年度 教職員カウンセリング 研修 1次」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和3年10月27日(水) 対象:教員  
内容:カウンセリングマインドを身につけ学生や保護者に対応できるスキル向上を目指し資格を取得するために研修

研修名「神戸滋慶職員研修」(連携企業等:神戸滋慶学園)  
期間:令和3年12月23日(木) 対象:教員  
内容:神戸滋慶教職員広報イベント研修

### (3)研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 新任研修」(連携企業等:一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会)  
期間:令和4年5月14日(土) 対象:教員  
内容:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 JESA新任教員研修①授業設計②心構え③Jesalについて

研修名「第25回日本臨床救急医学会」(連携企業等:日本臨床救急医学会)  
期間:令和4年5月26日(木)～27日(金) 対象:教員  
内容:医師・看護師・消防機関・他コメディカルによる学会

研修名「JESA理事会」(連携企業等:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会)  
期間:年2回～3回 対象:教員  
内容:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として法人の業務執行の決定等

研修名「JESA理事会・総会・教員研修会」(連携企業等:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会)  
期間:令和4年8月19日(金) 対象:教員  
内容:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会、JESAに加盟している民間養成校の総会・教員研修会

研修名「兵庫県実科査閲」(連携企業等:兵庫県消防学校)  
期間:令和4年9月24日(土) 対象:教員・学生  
内容:兵庫県消防学校初任教育の査閲

研修名「JESA理事会」(連携企業等:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会)  
期間:令和5年3月 対象:教員  
内容:一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として法人の業務執行の決定等

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「国家試験対策センター会議」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年5月23日(月) 対象:教員  
内容:国家試験に対する研修会 令和2年度国家試験結果・振り返り・2023年度事業計画

研修名「マネジメントベーシック研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年6月21日(火)～22日(水) 対象:教員  
内容:マネージャーに必要とされる基本的な知識やスキル、スタンスを学ぶ

研修名「マネジメント後期研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年7月5日(火)～6日(水) 対象:教員  
内容:企業組織を取り巻く内外環境の変化に対応すべき、基礎を身につけた上でそれらを十分に使いこなす。自身で考え自分のものとしてマネジメントができる

研修名「JESC教育分科会 救急救命チーム会議」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年8月他2回 対象:教員  
内容:滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版 各校の広報・DO・国試・就職について目標・数字確認・問題点の対策

研修名「2022年度 教職員カウンセリング研修(2次)」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)  
期間:令和4年10月 対象:教員  
内容:カウンセリングマインドを身につけ学生や保護者に対応できるスキル向上を目指し資格を取得するために研修

研修名「神戸滋慶教職員研修」(連携企業等:神戸滋慶学園)  
期間:令和4年12月 対象:教員  
内容:神戸滋慶教職員FD研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針としています。



(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

中途退学率の改善が必要との指摘から、メンタル面、学習習慣や学習能力面についての学生サポートアンケートを活用し、問題の早期発見や担任による補講契約や面談を実施している。また、カウンセリングやキャリア教育に携わる教職員に対するサポートや研修も実施している。特に当学科は実習において学生メンタル面が弱い傾向があるとの指摘において、社会人基礎力を強化するカリキュラムを作成した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 元樹	理学療法士科卒業生・平島病院 リハビリテーション科	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	卒業生
柿本 香代子	言語聴覚士科4年生の保護者	2022年4月1日～ 2023年3月31日(1年)	保護者代表
川崎 万紀代	学校法人百合学院中学校・高等学校 校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	高等学校 関係者
田中 加代子	特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ 地域活動支援センター	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員
正木 健一	兵庫県理学療法士会 財務部 部長/株式会社ヌーベルバーグ 介護ショップ 蓮	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員
川端 雅生	一般社団法人日本義肢協会 近畿支部 研修委員/株川端技術所 代表取締役	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL:

公表時期: 令和4年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年作成している事業計画の実行方針では目標(カリキュラムの検証、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具現化するため、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の委員の方からの意見をもとに、実行計画を作成している。企業等への具体的な情報提供方法としては、講師会議やホームページを通じて、教育活動その他の学科運営の情報に関する情報の提供を行っています。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の理念、校長名、所在地、連絡先、教育目標、学校の沿革
(2)各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、教科目標、教科課程、進級・卒業の要件、資格、検定、実績、卒業生数、卒業後の進路、各学科のシラバス
(3)教職員	教職員数、組織図
(4)キャリア教育・実践的職業教育	教育システム、実習・実技等の取組、就職支援の取組
(5)様々な教育活動・教育環境	学年暦、学校行事の取組状況、設備紹介
(6)学生の生活支援	学生支援の取組
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費サポート
(8)学校の財務	資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、貸借対照表、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、学校関係者評価委員会議事録
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページに明記している。

URL:<http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/>



授業科目等の概要

(医療専門課程 救急救命士科) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			情報科学	医療における統計学の必要性の理解とコンピュータ処理の実例を通してコンピュータの基礎を理解する。	1通	45	1	○			○				○
2	○			倫理学	市民社会の成立・生命の尊厳・社会規範・宗教哲学等、生命倫理をめぐる基本問題を学ぶ。	1前	15	1	○			○				○
3				心理学	発達心理・人格形成・人間の行動について学ぶ。	1前	15	1	○			○				○
4	○			体育学	体力を増強し、健全な身体の発達を図り、人命救助に適した体作りを目指す。	1通	60	2	○			○				○
5	○			一般教養Ⅰ	社会人や公務員として必要な知識や教養について学ぶ。	1通	90	6	○			○				○
6	○			一般教養Ⅱ	社会人や公務員として必要な知識や教養について学ぶ。	2通	90	6	○			○				○
7	○			解剖学・生理学	人体の構造と機能を中心とした基礎的内容について学ぶ。	1前	60	4	○			○				○
8	○			生化学	生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝疾患時の変化などについて基礎的事項を学ぶ。	1前	15	1	○			○				○
9	○			病理学	疾病の病因・病理学像などの基礎的内容を学ぶ。	1前	15	1	○			○				○
10	○			法医学	法律上の問題となる医学的事項を中心として学ぶ。	1後	15	1	○			○				○
11	○			薬理学Ⅰ	薬物の作用機序・適応・使用量などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○				○
12	○			薬理学Ⅱ	主に病院内実習で必要な薬物の作用機序・適応・使用量など具体的に学ぶ。	2前	15	1	○			○				○



28	○		筋・骨格系疾患	筋・骨格系の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○							○
29	○		皮膚系・感覚器疾患・感染症	皮膚系疾患、感覚器疾患や各種感染症の主な症候、観察、判断、処置などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○							○
30	○		小児科疾患	小児・新生児疾患の主な症候、観察、処置などを中心に学ぶ。	2後	15	1	○			○							○
31	○		高齢者疾患	高齢者疾患の主な症候、観察、処置などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○							○
32	○		妊娠・分娩と救急疾患	妊娠に関する基本的理解と正常分娩の経過、分娩介助について学ぶ。また、異常妊娠や異常分娩の病態、症候、対応について学ぶ。	2後	15	1	○			○	○						○
33	○		精神障害	精神障害の特殊性と救急処置法などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○							○
34	○		外傷総論	外傷の定義や分類、受傷機転から外傷性ショック、現場活動を中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○							○
35	○		外傷救急医学Ⅰ	各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等や救急処置・搬送方法を学ぶ。	1後	30	2	○			○							○
36	○		外傷救急医学Ⅱ	外傷患者における生体反応や受傷機転から特徴、外傷性ショックについて学び、現場活動ができる。	2後	15	1	○			○	○						○
37	○		中毒・環境障害	中毒の病態生理と、環境因子による障害の発生機序、病態、症状、所見及び救急処置法を中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○							○
38	○		シミュレーション実習Ⅰ	実践的なシミュレーション実習を通し、観察・判断・処置に必要な知識や技術を身につける。	1通	495	11				○	○						○
39	○		シミュレーション実習Ⅱ	実践的なシミュレーション実習を通し、観察・判断・処置に必要な知識や技術を身につける。	2通	495	11				○	○						○
40	○		臨床実習	傷病者に対する救急隊の現場活動や病院内での観察、処置など実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を身につける。	2通	180	4				○							○
合計						40科目		2250単位時間( 88 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
本校所定の課程を修了し、出席日数をみだし、試験に合格した者。		1学年の学期区分	2期
授業に出席し、成績の評価において60点以上の場合に科目が認定される。		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。